

面ファスナーの黄変について

一般的に言われる黄変の原因

- 1) ビニール袋に入れたまま保管した場合
ビニール袋中では湿気がこもり易く、湿気を帯びた状態では、黄変が起こりやすくなりますしビニールの酸化防止剤の影響により黄変が起こります。
- 2) ダンボール箱に直接入れて保管した場合
ナイロンは吸着しやすく黄変しやすい繊維です。
ダンボール中にはグリニンという黄色物質が含まれており、それらが揮発してナイロン繊維に付着するおそれがあります。
- 3) 日光や蛍光灯など紫外線により黄変は促進されます。
また、気温が高く湿度が高い時期はより早く促進されます。
- 4) 塩素系漂白剤
塩素系漂白剤を使用すると塩素に反応して黄色クロラミンと言う物質を作って黄変します。
- 5) 柔軟剤
柔軟剤仕上げした繊維は酸化防止剤が含まれており大気中の窒素酸化物と反応して黄色～茶色の物質を生成されナイロンに吸着して黄変が起こる可能性があります。

以上のような原因にてナイロン繊維は黄変を促進する恐れがあります。
また、6月末～9月上は特に影響を受けます。